

事務事業名	自立支援医療費給付事業	事務事業No.	10502000496	所属課	社会福祉課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和24年、身体障害者福祉法の制定により実施。身体障害者に対するリハビリテーション医療の提供が目的であったが、医療制度の変遷により「医療費の自己負担を軽減化するための制度」としての役割が強くなっている。平成19年4月から生活保護受給者の人工透析患者について、更生医療での決定と支払を優先するようになったことから、人工透析に関わる医療及び投薬代については更生医療で支払をすることとなった。平成25年度からは県からの権限移譲により育成医療の受付及び支払い等の事務を行う。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
対象者から更生医療を受けようと思っても、医療機関が「指定医療機関」でないために受けることができない。また、県内の医療機関で当該医療を受けている対象者は、マル福による助成を受けている。 育成医療も同様にマル福事業の該当者であり出生時からの対応になるため指定医療機関で受診していることがほとんどである。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 第2次総合計画の政策である「障がい者福祉の充実」に結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 障害者総合支援法に基づき、市町村がサービスを提供することとある。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない マル福に該当している対象でも更生医療及び育成医療が優先されるので、申請してもらう必要がある。(マル福を適用させ、申請しないことがある。)生活保護者の更生医療の決定者の負担が大きい。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 医療費の負担が大きく発生し、大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
公正性	<input type="checkbox"/> 余地がない 障害者総合支援法に基づく制度であり、他に類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input type="checkbox"/> 削減余地がない 適正に対象者に支給決定することにより、事業費が適正に給付されると考える。人件費についても、障がい者が個々に抱える問題を解決するための相談等については職員の対応が必要であり、削減余地はない。	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 障害者総合支援法に基づいた負担額の設定である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	更生医療の決定者は年々微増傾向にあり、給付費が増えている。																		
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">コスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">削減</td> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">成果</td> <td style="text-align: center;">向上</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	低下	×	×	×
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>